

## 地区懇談会の募集要領

### 1. 応募資格

青葉台一丁目、東山一丁目、上目黒一、二、三丁目、中目黒一、二、三丁目の中目黒駅を中心としたおおむね半径500m圏にお住まいの方

### 2 募集人員(応募多数の場合は公開抽選)

5名(男性2名・女性3名)

謝礼はありません。

### 3 募集締め切り

平成23年6月17日(金)区役所到着分まで

### 4 申し込み方法

次の事項を明記し、はがき・封書・FAX・Eメールまたは書面持参により申し込みください(書式自由、電話による申込はできません)。

記入項目 ①「中目黒駅周辺地区懇談会応募」である旨

②住所 ③氏名(ふりがな) ④連絡先電話番号

申込先：〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15

目黒区街づくり推進部地区整備計画課

FAX：03-5722-9239

Eメール：nakameguro-kai@city.meguro.tokyo.jp

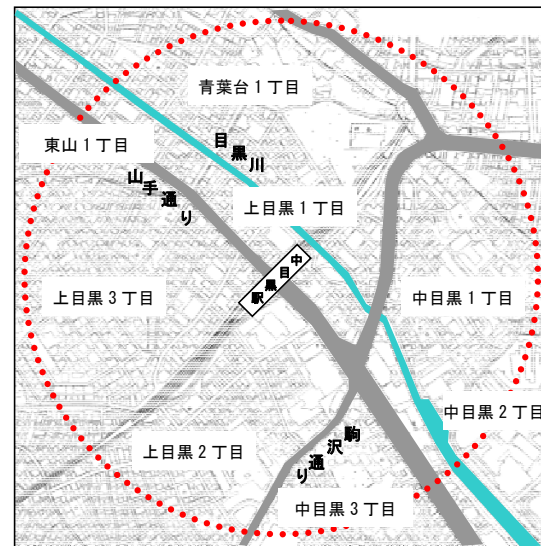
### 5 その他

(1) 応募者多数の場合の公開抽選は、6月22日(水)午前10時から区役所地下1階第9会議室で予定しています。

(2) 抽選結果は、6月23日以降に応募者全員にお知らせする予定です。なお、第1回の地区懇談会は7月上旬に開催を予定しています。

(3) 地区懇談会は、整備方針・整備計画策定までの期間(おおむね平成25年3月)を予定しています。

問い合わせ先：目黒区街づくり推進部地区整備計画課  
電話：03-5722-9673(担当：佐藤、三橋)



<区域図>

## 中目黒駅周辺街づくりニュース

第3号 平成23年6月

発行：目黒区街づくり推進部地区整備計画課

# 中目黒駅周辺地区整備方針策定に向けた取組みを進めます!

区では、昨年12月「中目黒駅周辺地区整備構想(素案)」を作成し、地域の皆様からいただいた意見・要望を踏まえ、平成23年3月に中目黒駅周辺地区整備構想(以下「整備構想」という。)を改定しました。

この整備構想で掲げた地区の「目指す将来の姿」の実現を目指し、段階的かつ計画的な街づくりを進めるための指針、また、今後策定する「整備計画」の道しるべとなる中目黒駅周辺地区整備方針(以下「整備方針」という。)を平成23年度内に策定する予定です。

整備方針の策定作業を進めるには、地域住民の方々の視点からの意見を反映することが不可欠であることから、整備構想策定作業に続き、地域住民の方々を主体とした「街づくり懇談会」を設置した取組みを進めてまいりたいと考えております。

懇談会の設立に向けて、平成23年6月に関係町会、住区住民会議、商店街等の代表の方を構成とした懇談準備会を開催しました。今後、7月に懇談会の設立を目指します。

### ◇ 懇談会に参加される地域住民の方を募集します!

懇談会は、中目黒駅周辺地区内の町会、住区住民会議、商店街等の代表の方と公募による地域住民の方で構成したいと考えています。

区では、この懇談会に参加して頂ける地域の住民の方、5名(男性2名、女性3名)を募集いたしますので、奮ってご応募ください。

募集要領の詳細は4ページをご覧ください。



「中目黒駅周辺地区整備構想」の内容については目黒区のホームページ(<http://www.city.meguro.tokyo.jp>)からご覧ください。



# 1. 街の将来像

## 中目黒駅周辺地区整備構想の概要

### <地区の将来像>

地域の個性を活かした 文化の創出ができるまち なかめぐる

中目黒駅周辺地区は、従来からの商店街に加え、目黒川沿いの昭和を彷彿させる古い家や小さなビルを改修した個性的な店舗等が立地してきており、駅前とは違う雰囲気を醸し出しています。このような地域ごとの様々な個性は、この街の豊かな表情をつくりつつあります。

また、街歩きを楽しむ人や、犬を散歩に連れ出す人も増えており、居住者の生活様式が変化してきています。こうした生活様式の変化に合わせて、道路や公園などの施設について、くつろげる場所や楽しく散歩できる道などの整備が求められています。

そこで、中目黒駅周辺地区では、人と人とのつながりがあり、昔からの生活様式を継承しながら、美しい街並みの形成や、できるだけ自動車に頼らないで歩いて楽しめる街といった、考え方や生活様式を“文化”として捉え、様々な文化を創出していくことで“地域の個性”を活かしながら、住み続けたい街、住んでみたい街、訪れてみたい街を目指していきます。

### <街づくりの目標>

「街づくりの目標」は、地区の将来像に向かって目指すべき方向を定めたものです。

- 目標1 快適で安全な住環境の維持・保全・改善・調和を進めます**  
(個性豊かな店が集積しつつありますが無秩序な混在にならないようにしていきます)
- 目標2 環境にやさしい、歩いて楽しめる街づくりを進めます**  
(環境負荷の少ない地域社会、歩行者優先の街づくりにしていきます)
- 目標3 中目黒駅周辺の魅力を更に高めるための街づくりを進めます**  
(鉄道高架下の動向や山の手通りの拡幅に対応した取り組みをしていきます)
- 目標4 地区の活性化や都市型観光に寄与する街づくりを進めます**  
(地域の資源の活用や、大橋、祐天寺、代官山との連携や機能分担をしていきます)

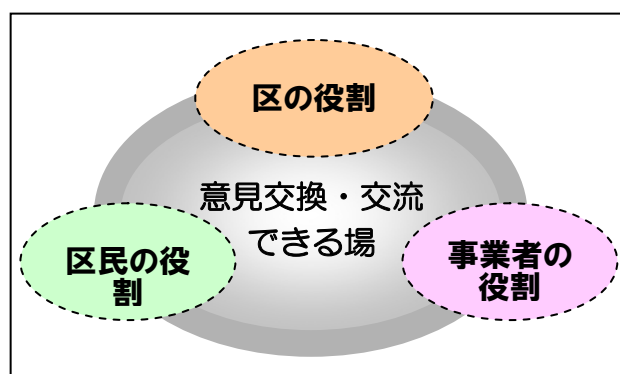
# 2. 街づくりの進め方

街づくりを効果的に進めるための仕組みを整えます。

街づくりを進めるために、区民、事業者、区がそれぞれの役割を担い、連携、協力の下「意見交換をする場」を設けていきます。

今後、意見交換の場を発展させ、例えば、地域別の課題や、テーマ別に話し合いの場を設けるなどして、地域のルールづくりなどの街づくりを進めていくことができると考えています。

区は、そのような取り組みへ積極的に参加・支援を行い、区民・事業者と連携・協力し、「整備構想」の実現に向けた具体的な施策の策定、実施を行います。



# 3. 街づくりの方針

「街づくりの方針」は、「街づくりの目標」を実現するための街づくりの基本的な考え方や取り組みの方向性を示すものです。概ね10年間を目標に、段階的に進める街づくりの基本的な指針として、個別の計画立案や具体的な取り組みに反映されます。

街づくりの方針は、地区の現況や特性などから地区を12区分し、各区分において方針を設定します。

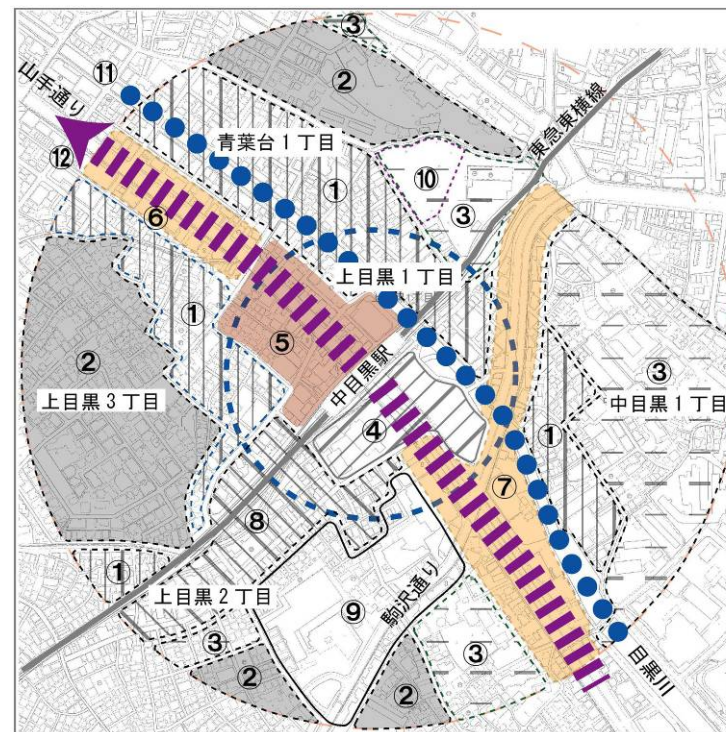
#### 住宅地の街づくり

- ①産業・住宅複合地区**  
● 無秩序な混在にならないように、住環境と産業環境が調和した土地利用の形成
- ②戸建て住宅地区**  
● 生活道路の改善を図りながら、住みよい、緑豊かな住環境の維持・保全や防災性の向上など、良好な住環境の形成
- ③集合住宅地区**  
● 周辺の住宅地や既存緑地に配慮した、主にマンションが集積した市街地の形成

#### 事業・地域資源を活かした街づくり

- ⑩JR 宿舎跡地**  
● 地形や豊かな緑を活かした良質な住居環境の整備とともに、中目黒と代官山を結ぶ回遊性と楽しさの創出
- ⑪目黒川沿い**  
● 潤いや安らぎを感じる都市景観・都市環境の形成
- ⑫山手通り沿道**  
● 統一感・連続感・賑わい感のある都市景観の形成

<街づくり方針の地区区分図>



#### 地区全域の街づくり

- 歩行者優先経路の安全性の向上
- 放置自転車対策の推進
- 主要生活道路・細街路の整備
- 魅力的なみどりの拠点の形成
- 回遊性を生む街歩きルートの創出
- 防災機能の向上
- コミュニティの形成・活性化の推進など

#### 商業・業務地の街づくり

##### 駅周辺ゾーン

- ④交流拠点地区**  
● 良好な横断経路の確保を図るとともに、商業・業務・住宅の機能が複合した、中心エリアに相応しい賑わいの形成
- ⑤商業・業務地区**  
● 広域的な商業・業務機能の集積が図られた市街地の形成  
● 山手通りの拡幅にあわせて、商業・業務・住宅の改装等による活力ある沿道市街地の形成
- ⑨業務地区**  
● 住宅との調和が図られ、立地特性を活かした業務地の形成

##### 商業・業務ゾーン (幹線道路沿道・生活道路沿い)

- ⑥沿道商業・業務地区 A**  
● 大橋地区との連携や機能分担を図りながら、山手通りの拡幅にあわせて、商業・業務・住宅の改装等による活力ある沿道市街地の形成
- ⑦沿道商業・業務地区 B**  
● 既存建築物の改装等による、活力ある沿道市街地の形成
- ⑧近隣商店街地区**  
● 祐天寺地区との連携や機能分担を図りながら、区民の生活利便の向上に資する身近な商業地の形成